

## 第 20 回国際心血管薬物療法学会でのポスター発表

2015年6月25日 - 26日にかけてアルゼンチン・ブエノスアイレスで開催された第20回国際心血管薬物療法学会に参加しました。本学会は、基礎から臨床における心血管疾患に対する薬物治療研究を中心とした学会です。

今回「動脈硬化に関連する酸化LDLと呼吸機能に対する高吸収クルクミンの効果」(天然抽出物であるクルクミンがCOPD患者における炎症に対する効果に着目した研究)と「心肥大時にp300による心肥大反応遺伝子におけるエピジェネティックな遺伝子の活性化」(心肥大や心不全の発症・進展におけるエピジェネティックな転写制御機構に着目した研究)の2テーマでポスター発表を行いました。

この発表で、優秀な発表を行った学生または若い研究者に贈られる Young Investigator Awardの First prizeを受賞することができました。

会場では、基礎研究だけでなく、臨床における薬物の最新の知見についても活発な議論が展開され、多くの刺激を受けた大変貴重な2日間を過ごすことができました。



薬食生命科学総合学府 薬科学専攻 分子病態学講座  
博士前期課程2年 船本 雅文